

## 招待講演

「今まさに世界のICT産業は未曾有の変革期にある」

～ICTの今後の方向性と日本の課題～

野辺継男（インテル株式会社）

### 発表者プロフィール

野辺継男（のべつぐお）

インテル株式会社

オートモーティブ・ソリューション・グループ

チーフ・アドバンスドサービス・アーキテクト(兼)ダイレクター

#### 略歴

- 1983年4月日本電気(株)入社  
海外における国際標準パソコン(IBM PC互換機)事業の立ち上げ、その後の国内PC98後の互換機事業、及びソリューション事業拡大等、国内外で各種プロジェクトの立ち上げ。
- 2000年末日本電気(株)退職後、国内最大級のMMORPG系オンラインゲーム会社立ち上げを含む複数ベンチャー(ソフトバンク系)を立ち上げ。CEO歴任。
- 2004年4月日産自動車(株)入社  
カーウイングス・テレマティクス主管を経てピークル・インフォメーションテクノロジー事業本部プログラムダイレクター兼チーフサービスアーキテクト。EV向けITソリューションの導入及び立ち上げ等を経て2012年3月末退職。
- 2012年4月インテル株式会社入社。現在に至る。

### 要約

これまでのICT産業を振り返ると、90年代のPC、2000年代のインターネット、2010年代の情報通信端末のマルチデバイス化とサーバのクラウド化等、10年程度の単位でICT市場が波状的に大きく変化し成長してきていることが見えてくる。

更に精査すると、それらの変化も約5年前(1985年、1995年、2005年頃)にはそれぞれの核となる技術要素が商用レベルで出現し、その後の破壊的(Disruptive)な市場の変化や成長に結びついている事が判る。

そして今、ビッグデータやM2Mを幅広い事業分野へ適用するニーズが急拡大しており、これまでのICT産業発展の延長線上のみでは先が読めない未曾有な変革期を迎えている。

講演者は1983年以降、日本電気、ソフトバンク、日産、インテル各社でそれぞれ、PC、ブロードバンドソリューション、クルマのIT化という各技術開発と市場立上げを最前線で関与してきた。特に、直近に従事した「クルマへのIT技術の導入」はICTを他事業分野に適用する代表例でもあり、その課題や方策、さらには今後の成長の核となる技術要素は何か(含:スマートフォンやクラウドの利用)に言及し、今後のICTの方向性と日本のあるべき産業構造についてお話させて頂く。